

W-815 取扱説明書

W815-z-2403

お買い上げありがとうございます。
ご使用前に本取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱い
下さいますようお願い申し上げます。
本取扱説明書はお手元に保管して下さい。

- 印刷による制限のため、本取扱説明書中の図が実際の表示と異なる場合があります。
- 本製品によって生じた、いかなる支出・損益・その他の損失に対して何ら責任を負いません。
- 本取扱説明書を製造者の許可なく変更・複製することを禁じます。

製品仕様 (改良のため予告なく変更する場合があります。)

■使用温度範囲: 0 ~ +40℃ ※結露なきこと
(外観 / 機能に支障無く、連続使用可能な温度範囲)

■使用推奨電池: 単3形マンガン乾電池 (R6 1.5V) 1個

■電池寿命: 約 12 ヶ月 (単3形マンガン乾電池 1個使用の場合)

電池の交換について

- 電池容量が少なくなると、時計の遅れや止まりが発生します。このような場合は、速やかに新しい電池に交換して下さい。
- ※買い置き電池を使用した場合、乾電池に示されている「使用推奨期限」や保管状態により、電池寿命が短くなることがあります。

故障かな?と思ったときには…

※製品が正常に作動していないときは修理を依頼する前に下記を参考にお確かめ下さい。

時計が動かない

考えられる原因	処置
電池容量が無い	電池の ⊕ ⊖ の向きを確かめて、新しい電池を入れて下さい。
電池が入っていない	
電池が正しい向きで入っていない	
電池端子の接触不良	端子の表面をふいて電池を入れ直して下さい。

時計が止まる、または遅れる

考えられる原因	処置
電池容量が少ない	新しい電池に交換して下さい。
針の取り付け不良	針がムーブメントのシャフト部分に水平に取り付けられているか、時分針が接触していないか確認して下さい。水平ではない、あるいは時分針が接触している場合は、電池を外してから時分針を水平に取り付け直して下さい。

時計の掛け方について

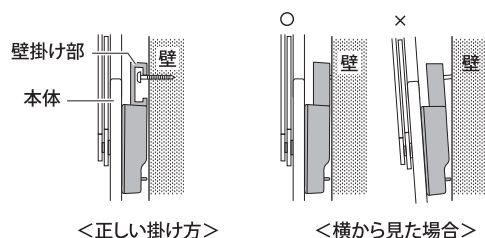


注意

掛け方が不適切な場合、
落下する危険があります。

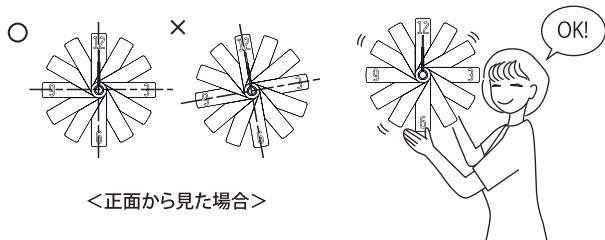
- 掛け具に時計を掛けた際に、時計本体を上下・左右・前後に軽く動かして、確実に掛かっていることを確認して下さい。
- 時計は垂直・水平に掛けて下さい。時計に傾きがあると時計の精度や機能が正常に働きません。
- ドアを開閉するときの振動が伝わらない所に掛けて下さい。
- 落下の原因になりますので、壁掛け部以外には掛けないで下さい。
- 壁の裏側に電気配線等がある場所に取り付けると掛け具で電気配線等を傷つけ、火災・感電につながる恐れがあります。事前に電気配線等の位置を確認し、取り付けて下さい。
- 壁の材質・構造を確認の上、この時計の重さに充分耐えられる掛け具を選んで下さい。

※材質・構造がご不明の場合は、建築メーカー等へ相談して下さい。



<正しい掛け方>

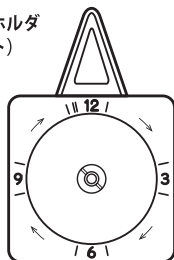
<横から見た場合>



<正面から見た場合>

1. ムーブメントホルダ

(ムーブメントホルダ
+ムーブメント)



2. プレート x 12

・数字の印刷あり
(3,6,9,12)

4 枚

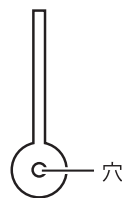


・数字の印刷なし

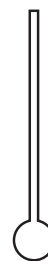
8 枚



3. 時針



4. 分針



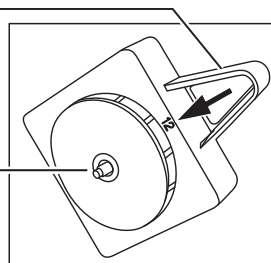
組み立て方をcheck!
動画で解説

組み立て方

1 ムーブメントホルダの壁掛け部を上にし、シャフト部分を手前にして持ちます。

壁掛け部

シャフト部分



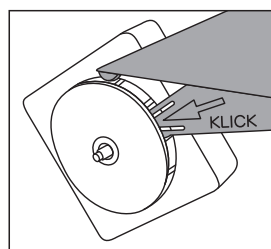
2 12の印刷があるプレートの"↓ CLICK"と書かれている先端部分を、ムーブメントホルダの12と刻印されている穴に止まるまで差し込みます。

ツメ部分

12の印刷があるプレート

ムーブメントホルダの
12時位置の穴に入れる。

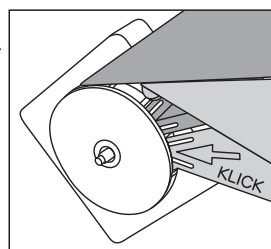
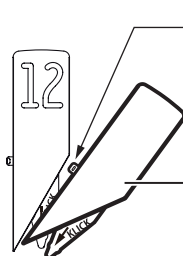
ムーブメントホルダの
10時位置の穴に入れる。



3 数字の印刷なしプレートを選び、"↓ CLICK"と書かれている先端部分をムーブメントホルダの1時位置(12時位置の右隣の穴)に差し込みます。
※この時ももう片方の先端部分はムーブメントホルダの11時位置の穴に入ります。プレートの左側にあるツメ部分を12時の印刷があるプレートとつなげます。

ツメ部分
12時のプレート
の下に差し込む

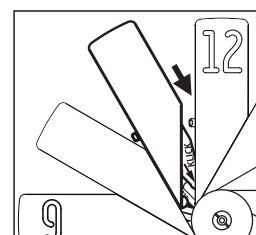
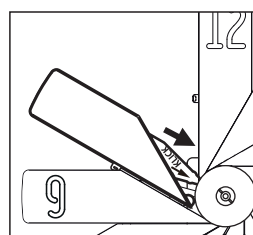
数字の印刷
なしプレート



4 この手順で残りのプレートを順番に、時計回りにムーブメントホルダに差し込んでいきます。

※3、6、9、と印刷されているプレートは、ムーブメントホルダの3、6、9と刻印されている穴に差し込んで下さい。

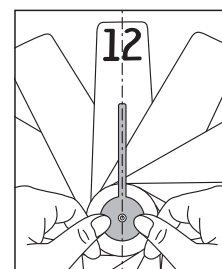
5 ムーブメントホルダの10時位置と11時位置にプレートを差し込む際、"↓ CLICK"と書かれている先端部分は既に差し込まれているプレートの後ろに差し込み、もう片方の先端は既に差し込まれているプレートの手前に差し込んで下さい。



6 11時のプレートを差し込んだ後、右隣の12の印刷があるプレートとツメ部分をつなげて下さい。

7 ムーブメントホルダをしっかりと持ち、全てのプレートがしっかりと差し込まれているか、また隣のプレートとつながっているかを確認して下さい。

8 組み立てた本体を平らな場所に置き、時針が12時を指すように時針の穴をムーブメントのシャフト部分に水平にはめ、指で軽く押して下さい。
※強く押しすぎると故障の原因になりますのでご注意ください。



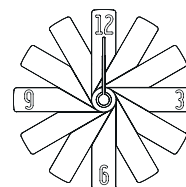
側面



9 分針も同じ様に12時を指すように水平に取り付けて下さい。

10 2つの針が接触していないか横から見て確認し、調整して下さい。

以上で組み立ては完成です。



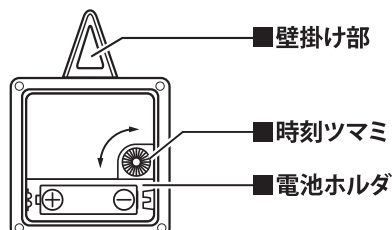
時計の使い方

①時計を組み立てた後、単3形乾電池1個を電池ホルダの⊕⊖の表示に合わせて入れて下さい。

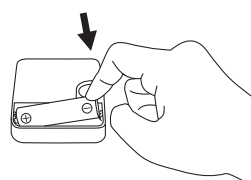
※電池を入れる際は、必ず電池ホルダに表示されている⊕⊖の向きをご確認下さい。

②時刻ツマミを回して現在時刻に合わせて下さい。

ムーブメントホルダ
裏面拡大図



※電池を入れるときは
⊕側から入れて下さい。



※電池を外すときは
⊖側から外して下さい。

